

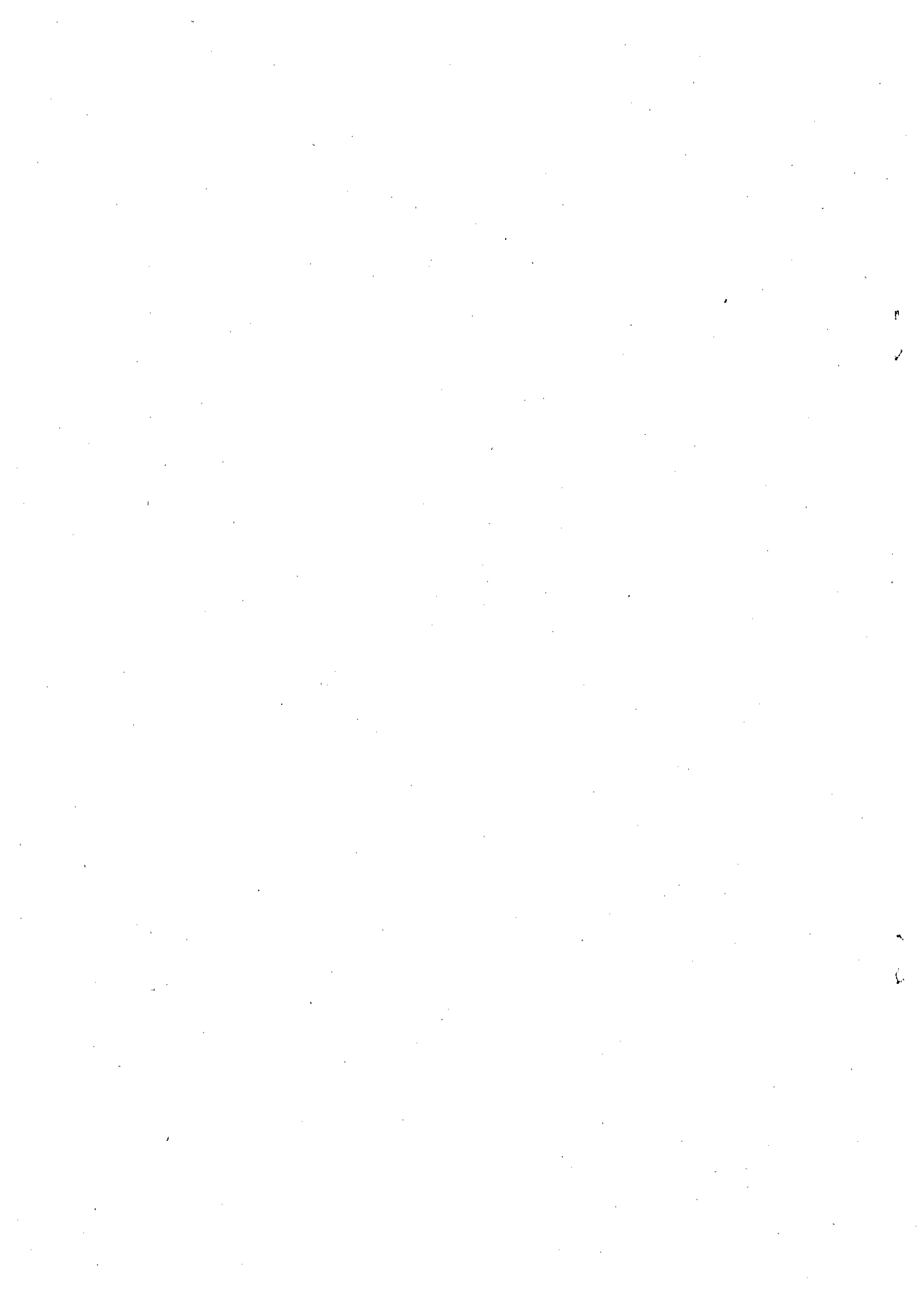
総務教育常任委員会資料

(平成27年3月10日)

【 件 名 】

- | | | |
|---|---|---|
| 1 | 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について（教育環境課）…………… | 1 |
| 2 | 「コミックマーケットスペシャル6 - OTAKU SUMMIT 2015 -」への出展について
（高等学校課）…………… | 2 |
| 3 | 鳥取県立博物館の今後の施設整備のあり方に関するアンケート結果について
（博物館）…………… | 3 |

教 育 委 員 会



一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

平成27年3月10日

【変更分】

工 事 名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工 期	契約年月日	摘 要
県立鳥取西高等学校整備事業 (2工区)(建築)	鳥取市東町 二丁目	やまこう・千代田特定建設工事 共同企業体	契約金額 293,760,000円を 292,335,480円 (1,424,520円 減額)に改める。	平成26年7月15日～ 平成27年3月15日 (変更なし)	平成27年2月24日 (第1回変更)	(変更理由) ホワイトボードの再利 用などの仕様変更等 を行ったため。
鳥取西高等学校南通路整備工 事	鳥取市東町 一丁目～二 丁目	やまこう建設株式会社	契約金額 150,120,000円を 169,105,320円 (18,985,320円 増額)に改める。	平成26年3月25日～ 平成27年2月20日 (変更なし)	平成27年2月20日 (第2回変更)	(変更理由) 通学路動線を確保す るため、グラウンド内 付替水路工事を前倒 して実施したため。

「コミックマーケットスペシャル6 - OTAKU SUMMIT 2015 -」への出展について

平成27年3月10日
まんが王国官房
高等学校課

まんが王国とっとりが、「コミックマーケットスペシャル6- OTAKU SUMMIT 2015 -」へ、県立米子高校の生徒とともに出展します。まんが王国とっとり及びチャレンジ精神を持った高校生が、それぞれ制作した漫画冊子により鳥取県をPRします。

国内最大級イベントのコミックマーケットへの出展は、高校生が更なる大きな夢を描いて創造性を高めることを促すとともに、その高校生の若さをエネルギーにした、元気一杯のまんが王国ととりのPRを実現します。

〔イベント概要について〕

- 1 名称 コミックマーケットスペシャル6- OTAKU SUMMIT 2015 -
- 2 日時 平成27年3月28日(土)、29日(日)
- 3 場所 幕張メッセ(千葉県千葉市)
- 4 主催 コミックマーケット準備会、有限会社コミケット
- 5 イベント内容

コミックマーケットとは、同人誌即売会を中心としたイベントであり、通常は年2回(8、12月)開催されるイベントで今年で40周年となる。最近では一開催あたり50万人を超える参加者が集う大規模イベントとなっている。そしてコミックマーケットスペシャルとは通常開催に加えて、5年に一度開催される特別イベントで、毎回コンセプトを定めて開催しており、今年は「オタクサミット」と称し、マンガ、アニメ、ゲームを楽しむ国内、国外のオタク文化ファンが集う特別イベントとして開催される。

6 鳥取県の出展概要

まんが王国ととりと高校生による共同出展。2ブースで、まんが王国ととりで企画制作した漫画(国際マンガコンテスト作品集、もののふ)の有料販売や、高校生が自主制作した漫画冊子の無料配布をするほか、観光PRを実施して観光誘客を図る。

〔高校生の自主制作冊子について〕

1 概要

米子高校の生徒が中心となって、県教育委員会の「とっとり夢プロジェクト」事業に応募し、採用された「もっと、絵をうまくなってまんが王国ととりの高校生を全国にPRしたいプロジェクト」の成果として制作した冊子。

2 参加生徒数

米子高校13名、米子東高校1名、米子工業高校1名 の計15名

3 サイズ・ページ数

A5判、150頁

4 作品点数

20点

5 その他

今回出展に参加するのは、米子高校の生徒3名

(参考)「とっとり夢プロジェクト」事業について

自由な発想による主体的な企画・活動を促し、このことが自らの自主性・個性の伸長、学校や地域の活性化につながることを目的として、想像力とチャレンジ精神を持った高校生に対して支援する。

鳥取県立博物館の今後の施設整備のあり方に関するアンケート結果について

平成27年3月10日
博 物 館

県立博物館は、3つの分野（美術、自然、歴史・民俗）にわたる総合博物館として昭和47年に開館して以来40年以上を経過し、建物・設備の老朽化が進んで、収蔵庫や駐車場が全く足りないなど深刻な問題を抱えています。

そこで、博物館のあり方を検討されている有識者（博物館現状・課題検討委員）からいただいた意見をもとに、県民の皆様からも意見をお聞きし、今後整備を進めていく上での参考とするため、県民参画電子アンケートを実施しましたので、その結果を報告します。







【調査概要】

- ・テーマ：鳥取県立博物館の今後の施設整備のあり方に関するアンケート
- ・期 間：平成27年2月10日 ～ 平成27年2月25日
- ・対 象：県政参画電子アンケート会員
- ・回 答：401名/485名（82.7%）（※回答者数は重複回答者除く）






(問1)あなたの性別をお答えください。

- | | | |
|------|---|------------|
| 1 男性 |  | 176人 43.9% |
| 2 女性 |  | 225人 56.1% |

(問2)あなたの年齢をお答えください。

- | | |
|----------|--|
| 1 20歳未満 | 0人 0% |
| 2 20～29歳 |  42人 10.5% |
| 3 30～39歳 |  121人 30.2% |
| 4 40～49歳 |  111人 27.7% |
| 5 50～59歳 |  63人 15.7% |
| 6 60～69歳 |  43人 10.7% |
| 7 70歳以上 |  21人 5.2% |

(問3)あなたの職業をお答えください。

- | | |
|---------------------|--|
| 1 自営業(農業等を含む) |  28人 7% |
| 2 会社員(公務員、団体職員等を含む) |  186人 46.4% |
| 3 主婦 |  94人 23.4% |
| 4 学生 |  11人 2.7% |
| 5 その他 |  82人 20.4% |

(問4)あなたのお住まいの市町村をお答えください。

1 鳥取市	155人	38.7%
2 米子市	112人	27.9%
3 倉吉市	32人	8%
4 境港市	19人	4.7%
5 岩美町	4人	1%
6 若桜町	1人	0.2%
7 智頭町	2人	0.5%
8 八頭町	10人	2.5%
9 三朝町	1人	0.2%
10 湯梨浜町	11人	2.7%
11 琴浦町	15人	3.7%
12 北栄町	8人	2%
13 日吉津村	2人	0.5%
14 大山町	9人	2.2%
15 南部町	4人	1%
16 伯耆町	4人	1%
17 日南町	5人	1.2%
18 日野町	1人	0.2%
19 江府町	1人	0.2%
20 県外	5人	1.2%

(問5)あなたは、鳥取県立博物館に行ったことがありますか。

1 過去1年以内に行ったことがある	87人	21.7%
2 1年以上前に行ったことがある	153人	38.2%
3 行ったことがない	160人	39.9%
4 無回答	1人	0.2%

(問6)あなたは県立博物館が前述のような問題を抱えていることを知っていましたか。

1 知っていた	77人	19.2%
2 部分的に知っていた	85人	21.2%
3 知らなかった	236人	58.9%
4 無回答	3人	0.7%

(問7) 県立博物館について新たな施設を整備する場合、どのようにするのが良いと思いますか。
なお、各案の詳細については、別表「施設整備の方策」を参考としてください。

- 1 美術分野のための新たな施設を整備(現在の施設は自然分野と歴史・民俗分野のための施設に改修) 203人 50.6%
- 2 自然分野のための新たな施設を整備(現在の施設は美術分野と歴史・民俗分野のための施設に改修) 75人 18.7%
- 3 歴史・民俗分野のための新たな施設を整備(現在の施設は美術分野と自然分野のための施設に改修) 66人 16.5%
- 4 その他 55人 13.7%
- 5 無回答 2人 0.5%

「4 その他」の主な意見

- ・歴史と民俗分野をやまびこ館に移す。現在の施設は、美術と自然分野のための施設にする。
- ・美術分野・自然・歴史・民俗分野すべて整備されたほうがよいと思う。
- ・そのままでよい。建て直すとまた、多額のお金がかかる。
- ・新築の施設を作らず、既存のビルを改修して、3分野のうちの1つか2つを移管する。
- ・倉庫を別の場所で保管する。

(問8) 前問であなたがそのようにするのが良いと考えられた理由、そのようにする場合に留意してほしいと思われる事項などについて、自由に記載してください。

○問7で「1 美術分野のための新たな施設を整備」と回答された方の理由等

- ・この際、足立美術館のような本格的な美術館を建てて県を活性化してほしい。
- ・城下町の名残を残し、周囲の景観にマッチした現所在地は博物館としては立地条件は素晴らしいと考えます。ただ、問題となるのは駐車場が少ないことです。歴史・民俗分野の常用展示は現状とし、特別展など大型スペースが必要な美術分野は、新築移転することを希望します。
- ・自然、歴史・民俗分野は現所在地に。久松山のふもとは鳥取の自然、歴史そのもので、その展示に最適場所である。美術分野は他所へ。自然、歴史・民俗分野に比べ場所の選定にこだわりが少ない。
- ・収蔵物の管理上 薬品を使う自然分野から離れたほうが善いと思うし、特別展など展示物の入替えや来館者が一時的に集中する美術館は別施設(棟)とし、自然分野と歴史・民俗分野とはかかわりが深く切り離せない部分があるので、一施設で展示するのが自然だと思う。

○問7で「2 自然分野のための新たな施設を整備」と回答された方の理由等

- ・鳥取県は自然が有名なので、もっと自然分野に力を入れても良いと思う。
- ・鳥取県の自然を誇り、護り、全国に発信するためには自然分野のための施設を分離したほうが良い。
- ・博物館の魅力は、美術館と違って、自然や歴史分野が充実している面にあると思うから。鳥取は自然を前面に出してアピールした方が良いと思う。美術品は期間限定で他施設から借りてくれば良い。
- ・現在の場所は立地が良く美術館としてふさわしいと思う。鳥取県はジオパークもあり、自然豊なところなのでそれを活かせるような施設も良い。

○問7で「3 歴史・民俗分野のための新たな施設を整備」と回答された方の理由等

- ・美術分野の施設を新たに整備しても、貯蔵品があまりないのではないか。歴史や民俗品は鳥取ならではの貴重なものがあると思うので、ゆっくり鑑賞したい
- ・鳥取県において、歴史と民俗分野は重要。周知と保存に重きをおいた新しい施設を。
- ・鳥取県に青谷や淀江など全体的にも有名な遺跡がある。総合学習する場所を設置し、次に現地学習が出来るようにする。

(別表)

施設整備の方策

区分	①美術分野のための 新たな施設を整備 (現在の施設は自然分野と歴史・民俗分野のための施設に改修)	②自然分野のための 新たな施設を整備 (現在の施設は美術分野と歴史・民俗分野のための施設に改修)	③歴史・民俗分野のための 新たな施設を整備 (現在の施設は美術分野と自然分野のための施設に改修)
新施設	<ul style="list-style-type: none"> 展示・保管資料を適切な環境下で管理 主要資料を常設展示 大型資料を展示 可動壁等を備付け 作品制作室の設置 建物設備の老朽化対応 搬出入口等の大型化 燻蒸庫を整備 館内設備の耐震対策 十分な規模の駐車場 バリアフリーとシンプルな基本動線 県民ギャラリーとしての利用 	<ul style="list-style-type: none"> 展示・保管資料を適切な環境下で管理 大型資料を展示 体験型展示等に対応 体験学習室の設置 収蔵庫等の適切配置 建物設備の老朽化対応 搬出入口等の大型化 十分な規模の駐車場 バリアフリーとシンプルな基本動線 	<ul style="list-style-type: none"> 体験型展示等に対応 体験学習室の設置 図書・情報コーナーの設置 建物設備の老朽化対応 バリアフリーとシンプルな基本動線
施設の規模*	<p>他県の例を見ると、在り方によっては広い空間が必要となり、施設規模が大きくなることもある。</p>	<p>他県には大型のものも多い。 最近の他県施設は、歴史分野と併せても当館現施設(延床面積約1万㎡)と同程度</p>	<p>大型施設は、全国的なアピール力を有する歴史遺産等がある地域の施設に限られる。 他県には当館現施設より小型のものも多い。</p>
基本的な在り方	<p>多くの人が訪れ易い中心市街地等に設置して、本県ゆかりの作家の作品や、全国的・世界的な美術の名品に、県民が日常的に親しめるようにする施設(美術を特別なものと考えず、日常的に楽しめるようにする施設)とする場合</p> <p>(留意点)</p> <ul style="list-style-type: none"> 広い敷地確保は容易でないが、広い公共空地もある。 周辺の都市施設等との連携により、地域活性化に貢献。 	<p>多くの人に日常的に利用して貰えるようにすることを第一に考え、周辺に多くの人が暮らし、交通も便利な中心市街地等に設置し、利用者に素晴らしい自然が残されている所を紹介して、人々をそこへと誘導する施設とする場合</p> <p>(留意点)</p> <ul style="list-style-type: none"> 広い敷地確保は容易でないが、広い公共空地もある。 周辺の都市施設等との連携により、地域活性化に貢献。 多くの人が訪れる場所で本県の自然等に関する情報を発信し、人々をその自然がある場所へ誘導。 	<p>多くの人が利用し易く、歴史的な旧跡等が今も残る市街地に設置し、本県の歴史や生活文化を象徴する事物や場所を紹介し、人々を現地へ誘うとともに、周辺環境と連動して来館者に本県の歴史等を体感して貰う施設とする場合</p> <p>(留意点)</p> <ul style="list-style-type: none"> 古代や中世を中心とするなら、市街地への設置は困難なので、離れた所にある遺跡等へ人々を誘導するのに力を入れるべき。 広い敷地確保は容易でないが、広い公共空地もある。 周辺の都市施設等との連携により、地域活性化に貢献。
	<p>市街地の喧噪とは一線を画した、美しく閑静な環境の下で、本県ゆかりの作品や全国的・世界的な名品をじっくりと鑑賞して貰うことを重視した施設とする場合</p> <p>(留意点)</p> <ul style="list-style-type: none"> 郊外等に設置されることが多いので、街中より用地は確保し易いが、集客性は落ちる。 独自の目玉展示や施設の大型化による魅力強化が必要。 	<p>鳥取砂丘や大山など本県を代表するような自然・名勝の近くで、その環境を活かした展示や普及活動を行い、本県の自然の豊かさ・素晴らしさを利用者に体感して貰うための施設とする場合</p> <p>(留意点)</p> <ul style="list-style-type: none"> 相対的に地価が安く、広い敷地が確保しやすい。 交通の便が悪く、多くの人に利用して貰い難い。(鳥取砂丘や大山の近くなら、一定の集客は確保可能) 観光客の利用が多くなるので、地元に着した展開にも留意すべき。 	<p>本県を代表する遺跡・遺構に近接して設置し、それらと連動する形で展示や普及活動を行い、本県の歴史や独特な生活文化を利用者に体感して貰うための施設とする場合</p> <p>(留意点)</p> <ul style="list-style-type: none"> 場合によっては、古代集落遺跡や中世山岳寺院の近くに設置することも考えられるが、既設の展示施設との調整等が必要。 敷地は確保しやすいが、交通は不便。遺跡等に近いただけでは集客が見込めず、独自の目玉展示や施設の大型化による魅力強化が必要。
現施設	<p>(現在の施設は自然分野と歴史・民俗分野のための施設に改修)</p> <ul style="list-style-type: none"> 両分野は密接に関わっており、一館で両分野を取り扱う例は全国的にも多い。 両分野の共用であれば、現施設の空間利用は、他の場合より余裕あるものとなり、課題対応に必要なスペースを確保できる可能性が大きい。 	<p>(現在の施設は美術分野と歴史・民俗分野のための施設に改修)</p> <ul style="list-style-type: none"> 両分野は、保存・活用する資料等に重なる部分もあり、一つの施設で対応することに違和感はない。 	<p>(現在の施設は美術分野と自然分野のための施設に改修)</p> <ul style="list-style-type: none"> 両分野の複合施設は、全国でも殆ど見受けられないが、そうした希少性が、逆に当該施設の個性となる可能性もある。
課題		<ul style="list-style-type: none"> 歴史分野は近世史が中心だが、美術分野は近現代作品も重視しており、連携には工夫も必要。 歴史分野の比重が増大し、近隣施設との重複顕在化。 <p>他県の美術館には、規模的に当館現施設を大きく上回る施設が多いので、両分野が入居した場合、手狭で両方も課題に十分対応できなくなる恐れがある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 歴史・民俗分野抜きで、両分野を有機的に連携させ、施設を一体的に運営していくのは、容易でないかもしれない。

* 最近整備された他県同種施設の傾向を整理したものです。一般に、施設の規模が大きくなるほど、整備に費用が掛かるようです。